

平成二十年五月七日提出
質問第三五五号

サイクロンにより多数の死者を出したミャンマーへの人道支援に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

サイクロンにより多数の死者を出したミャンマーへの人道支援に関する質問主意書

本年五月二日から三日にかけてミャンマー中・南西部を大型のサイクロン（以下、「サイクロン」という。）が直撃し、一万五千人を超える死者が発生したと言われている。右を踏まえ、以下質問する。

一 政府、特に外務省並びに在ミャンマー日本国大使館は、「サイクロン」発生後、現地被害者の救済並びに現地邦人保護の観点から、どのような初動対応をとったのか説明されたい。

二 「サイクロン」直撃を受けて、ミャンマー政府は国際社会に人道支援を要請している。一部報道によると、外務省はミャンマーに対して二千八百万円相当の緊急援助物資を供与することを決定したとのことであるが、右は事実か。

三 二が事実ならば、「サイクロン」直撃を受けた今次の対ミャンマー緊急支援が、わずか二千八百万円相当であることの根拠について説明されたい。右は、我が国の緊急人道支援として妥当な額か。

四 外務省が二の決定をしたのはいつか。

五 二の決定をするに際して、外務省のどの部局で、誰の責任の下、いつ検討がなされたのか説明されたか。

六 二の決定についての文書は外務省において作成されているか。

七 二の決定が下される以前に、五の検討の段階で、高村正彦外務大臣並びに福田康夫内閣総理大臣に対してきちんとした相談、報告はなされていたか。

八 高村外務大臣並びに福田総理は、二千八百万円という金額を了承したのか。

右質問する。